妊娠期から大学進学までにかかる【一般的な費用】と『国・都・足立区の給付制度』

令和８年８月１日現在

一般的にかかる費用

妊娠・出産

出産　65～80万円　/出産毎

主な費用（妊婦健診、出産育児一時金、出産費助成あり）
妊婦健診、分娩費用、入院費、出産準備品

＋

希望した場合に追加となる費用　10～40万円
ベビーベット、チャイルドシート、ベビーカー、抱っこ紐

保育園・幼稚園

保育園・幼稚園　10～30万円　/年

主な費用（保育料は第１子から無償）
おむつなど日用品、教材費、給食費

＋

希望した場合に追加となる費用　10～20万円
保育関連費（延長保育、送迎バス等）、習い事、体験活動

小学校・中学校

小学校　区立　10～30万円　/年
　　私立　150～180万円　/年
中学校　区立　10～30万円　/年
　　私立　130～160万円　/年

主な費用（公立小中学校は授業料、給食費無償）
授業料、給食費、学用品、制服、部活動費

＋

希望した場合に追加となる費用　10～50万円
習い事、体験活動

高校

高校　都立　20～30万円　/年
　　私立　40～80万円　/年

主な費用（都立は授業料無償、私立は軽減）
制服通学用品、教材費、部活動費、交通費、施設費、ICT端末費

＋

希望した場合に追加となる費用　20～60万円
塾、予備校にかかる費用

大学

大学　国公立　110～130万円　/年
　　私立（文）　150～170万円　/年
　　私立（理）　180～220万円　/年

主な費用
入学金、授業料、施設整備費、教材費、通学費

※ 医歯薬系はさらに費用がかかる
※ 一人暮らしの場合、生活費約100万円/年

【大学入学前に必要な費用の例】
- 受験料：3.5万円/学部ごと（私立の場合）
- 併願校の入学金：20万円～30万円/１校あたり
- 入学金・授業料（前期分）など：55万円～120万円

【一般的にかかる費用について】
1　費用は文部科学省「子供の学習費調査」を参考に算出
2　出産費用は厚生労働省資料「出産費用の状況」より
3　記載されている費用は一例です

国・都・区の給付制度

妊娠届出時

スマイルママ面接こども商品券　1万円分

妊娠期・出産後

あだち出産・子育て応援給付金
（妊婦のための支援給付）
妊娠期　5万円分
出産後　5万円分

出産時

出産育児一時金　50万円
＋
出産費助成事業　最大10万円分
（出産費用と出産育児一時金の差額分）

出産後

赤ちゃんファーストカタログギフト　10万円相当
＋
赤ちゃんファースト＋（プラス）カタログギフト　3万円相当

１歳

ファーストバースデーサポートこども商品券
第一子　6万円
第二子　7万円
第三子以上　8万円

保育料

認可保育所
認定こども園
小規模保育
家庭的保育（保育ママ）　無償

私立幼稚園
私立認定こども園（短時間利用）
最大月3万5千円まで補助

認証保育所
最大月8万円まで補助

認可外保育施設
最大月8万円まで補助

小・中入学時 ※

入学準備金　10万円
（小・中学校の新１年生）
※ 基準日等の要件あり

学校給食費

区立小学校・中学校　無償

補助教材費、自然教室食事代・修学旅行費

区立学校に在籍する児童・生徒　無料
※ 一部自己負担の場合あり

就学援助・就学奨励 ※

学用品費、通学用品費、校外活動費等
一部を援助
※ 認定区分で、援助費目が異なる

高校入学時 ※

入学準備金　10万円
※ 進学先が決定していること等、諸条件あり

授業料

都立　無償
私立　（助成）最大50.1万円/年

高校生等奨学給付金 ※

教科書費、教材費など授業料以外の教育費
都立　約14万円
私立　約15万円
※ 非課税世帯・全日制の金額

高校生世代応援支援金 ※

部費、塾代、就職準備など　5万円
※ 所得要件あり

受験生チャレンジ支援貸付 ※

塾代　（中学3年生・高校3年生）　30万円
受験料　中学3年生　27,400円　高校3年生　12万円
※ 入学時に返済免除

大学等受験料・模擬試験料助成

大学等受験料　5.3万円
模擬試験料　中学3年生　6千円　高校3年生　8千円

足立区給付型奨学金 ※

入学料、授業料、施設整備費
全額を給付
※ 上限金額・募集人数あり

高等教育の修学支援新制度 ※

給付型奨学金
私立　46万円
国公立　35万円

入学金・授業料
私立　70万円＋26万円
国公立　54万円＋28万円
※ 世帯構成や所得など要件あり
※ 世帯の所得に応じて支援額が異なる

大学生等の修学・就職準備支援 ※

教材費等購入支援　20万円
就職準備支援　3万円

児童手当	0～3歳未満	月1万5千円	3歳以上～18歳年度末まで　月1万円　※ 第3子以降は月3万円
018サポート	0～18歳	月5千円	
子ども医療費助成	出生～高校生相当	医療費のうち保険診療の自己負担額および入院時の食事代を助成	

掲載以外にも制度がございますので、こちらもご覧ください。
高校生向け　大学生等向け

・資格や要件によっては、受けられない場合があります。
・※のある事業は、非課税などの所得制限があります。